

はじめに	1
本アプリケーションのサービス概要	1
通話料金の算出について	2
ご注意	3
準備	4
動作環境	4
接続方法	5
ローカル接続	5
通話情報管理装置アプリケーションのインストールとアンインストール	6
通話情報管理装置アプリケーションのインストール	6
"Microsoft Access 2000 Runtime"のインストール	6
"Microsoft Access 2007 Runtime"のインストール	8
"通話情報管理装置ソフトウェア"のインストール	10
"通話情報管理装置ソフトウェア"のアンインストール	12
通話情報管理装置アプリケーションの起動・終了	13
通話情報管理装置アプリケーションを起動する	13
通話情報管理装置アプリケーションを終了する	14
通話情報管理装置アプリケーション 環境設定	15
【環境設定を行うには】	15
【パスワード設定を行う】	16
【削除ダイヤルテーブル設定を行う】	18
【課金ダイヤルテーブル設定を行う】	20
【回線/ダイヤルイン名称設定を行う】	22
【テナント名称設定を行う】	25
【主装置設定を行う】	27
通話明細表示について	29
通話料金集計について	32
CSV ファイルについて	35
【CSVファイル出力方法】	35
【削除ダイヤルテーブルについて】	35
【課金ダイヤルテーブルについて】	
【通話明細情報について】	
【通話料金集計について】	
印刷方法について	
【印刷方法】	38
【印刷例】	39
各種メッセージについて	40
データコンバート方法について	45
ご参考に	47

# はじめに

本プログラムは、サクサ製 AGREA LT900(以下、主装置と呼ぶ)とLAN を利用して接続したパ ソコンから、通話情報(発信、着信)を元に通話料金算出、及び集計管理を行なうためのアプリケー ションです。

本アプリケーションのサービス概要

本アプリケーションのサービス概要は、以下の通りです。

No.	サービス名称	サービス概要		
1	設定変更	本アプリケーションで各種サービスを提供する上で必要となる各種設定を		
		行います。設定項目は、以下の通りです。		
		①課金ダイヤルテーブル		
		②削除ダイヤルテーブル		
		③回線/ダイヤルイン名称設定		
		④テナント名称設定		
		⑤主装置設定		
		⑥パスワード設定		
2	通話料金の算出	主装置から通話情報を受信時に、削除/課金ダイヤルテーブルを参照し通		
		話料金を算出し、通話明細情報として蓄積します。蓄積最大件数は6万件		
		です。		
		※本サービスは、本アプリケーション起動時にバックグラウンドで常時動		
		作しています。		
3	通話明細表示	通話明細情報を以下の条件から絞り込み表示することができます。		
		≪表示条件≫		
		①(V1.41以前)		
		「発信のみ」、または「発着信」 左記から選択します。		
		(V2.00 以降)		
		表示する内容を通話種別		
		発着信(すべて) 発着信(応答のみ) 発着信(未応答のみ)		
		発信のみ(すべて) 発信のみ(応答のみ) 発信のみ(未応答のみ)		
		着信のみ(すべて) 着信のみ(応答のみ) 着信のみ(未応答のみ)		
		上記9種類より選択します。		
		②「テナント指定」、または「内線指定」、「回線/ダイヤルイングループ		
		指定」		
		③通話開始時刻の昇順、または降順		
4	通話料金集計	通話料金を以下のグループで集計し、表示することができます。		
		≪グループ≫		
		①テナント毎		
		②内線毎		
		③回線/ダイヤルイングループ毎		
		④テナント番号、内線番号、回線/ダイヤルイングループ番号の昇順ま		
		たは通話料金の降順		

通話料金の算出について

通話料金の算出例を下記します。



(2) 受信した通話情報を元に、「通話先ダイヤル番号」の先頭から削除ダイヤルテーブルを検索し、一致した場合には該当ダイヤルを「通話先ダイヤル番号」から削除します。削除ダイヤルテーブルの何れとも一致しなくなるまで繰り返します。

例) 184 03 1234 5678・・・・【削除ダイヤルテーブル】の①と一致 ↓ 03 1234 5678・・・・・・・何れとも一致せず、(3)へ

(3) (2)の情報を元に、先頭から課金ダイヤルテーブルを検索し、一致した場合には通話料金を算出し、通話 明細情報として記録します。

例) 03 1234 5678・・・・【課金ダイヤルテーブル】の①と一致
 ↓
 以下の計算式を元に通話料金を算出(※1)・・((120/180)の商の切り下げ)+1)×8.5
 =(0+1)×8.5 の切り上げ
 =9 円
 【計算式】((通話時間/単位時間)の商の切り下げ+1)
 ×単位料金の結果を切り上げ
 ①発信 1840312345678 9 円
 .

※1:課金情報テーブルに未登録の場合は料金は"-(ハイフン)"となります。 主装置より受信した通話料金が高い場合はその料金を蓄積します。

### ご注意

本アプリケーションは、主装置から送出される通話情報を元に簡易的に通話料金を算出し、集計するものです。

通話料金の算出は、主装置から通話情報を受信時に行います。このため、「課金ダイヤルテーブル」の 設定変更を行いましても、通話明細情報には反映されません。

主装置は、ネットワーク障害 等で PC と通信ができなくなった場合に、最大 500 件まで通話情報を 蓄積することができます。この最大蓄積件数を超えた場合は最も古い通話情報を削除し、最新の通話 情報を蓄積します。PC との通信が復旧した場合に蓄積した通話情報を PC へ通知します。(最大蓄積 数を超えた発信/着信でそれぞれ総件数/総通話時間/合計料金を主装置の障害情報に登録します。)

停電が発生した場合、主装置は蓄積している通話情報を消去します。

主装置は、「保守データ番号 818:通話管理装置接続」を「1:接続あり」から「0:接続なし」に設定 変更しますと、それまでに蓄積された情報の通信完了を待って PC との通信を停止します。(「0:接 続なし」にした時点から発生した通話情報は PC に通知されません)。



PC 側の通話明細情報の累積最大件数は、6万件です。この最大累積件数を超えた場合は最も古い通話明細情報を削除し、最新の通話明細情報を累積します。

コピー&ペーストで全角文字入力不可欄に全角文字をペーストしないでください。全角文字を保存した場合は、登録したデータが使用されない場合があります。もし、誤操作で登録してしまった場合は、 削除保存してください。

### 準備

## 動作環境

本プログラムをご使用いただくには、以下の動作環境が必要です。

「通話情報管理装置」の動作に必要なシステム要件を以下に記載します。

CPU	Pentium 4 -2GHz 以上相当の Intel 及び AMD 製プロセッサ(※)
メモリ	512MByte 以上(OS が正常に動作すること)
ビデオカード	Windows 2000/XP/Vista/Server2008 に適合し、
	1024×768 ドット 65535 色以上表示可能なビデオカード必須
モニタ	Windows に適合し正常な表示が可能であること
LAN カード	Windows 2000/XP/Vista/Server2008 に適合し 100M/10M 以上の TCP/IP 通信
	が可能であること。TCP/IP プロトコル必須
ディスク容量	1GByte 以上の空き領域(インストール前の空き容量)
	別途 OS の動作に必要な容量及びデータ出力のための任意の容量が必要
OS	Windows 2000 Professional SP4
	Windows XP Professional SP3
	Windows Vista Ultimate SP1
	Windows Vista HomeBasic SP2
	Windows Server 2008 SP1

※ 必須スペックを満たしている場合でも、他にインストールされているアプリケーションやサービ スの状態によっては正常に動作しない場合があります。

※ AMD 製プロセッサに関しては Intel 製と同様なクロックが必須です。

☆制約事項

・OSやPC本体のスタンバイ機能、スリープ機能等によるPCの動作中断には対応しません。

・「通話情報管理装置」で使用する MDB ファイルは Microsoft Access 2000 形式のデータベースファイ ルですが、Microsoft Access 等のアプリケーションで MDB ファイルを開いたり編集した場合は正常な 動作が行えない場合があります。

## 接続方法

#### ローカル接続

「通話情報管理装置」を稼動させるパソコンを直接 LAN ケーブルで、主装置に接続します。 または、主装置と同一の LAN 上に「通話情報管理装置」を稼動させるパソコンを接続します。

〔直接接続する〕



通話情報管理装置

※直接接続する場合、LAN ケーブルはクロスタイプが必要となります。(ネットワークカー ドが Auto MDI/MDI-X に対応している場合は、どちらのタイプでも使用できます)

〔同一 LAN 上に接続する〕



※同一 LAN 上に接続する場合、ストレートタイプが必要となります。(HUB やネットワーク カードが Auto MDI/MDI-X に対応している場合は、どちらのタイプでも使用できます)

〔主装置との接続〕

主装置側の接続ポートは CCU ユニットのメンテナンス用 LAN ポート(CN4)に接続します。



## 通話情報管理装置アプリケーションのインストールとアンインストール

通話情報管理装置アプリケーションのインストール

【操作手順】

①通話情報管理装置のインストールプログラムを適当なフォルダにコピーします。

※インストールプログラムのフォルダ構成は以下の通り

□通話情報管理装置_vxxxx	ルートフォルダ
-InstallLauncher.exe	インストーラ
-C_SAXA	「通話情報管理装置アプリケーション」関連フォルダ
- AcsRt2k	「Access2000 Runtime」関連フォルダ
L AcsRt2007	「Access2007 Runtime」関連フォルダ(V2.0~)
* 嗣右ファイルが圧縮されてい	ス坦今け 報声して下さい

※配布ファイルが圧縮されている場合は、解凍して下さい。

②ルートフォルダのインストーラ(InstallLauncher.exe)を実行し、インストールランチャを起動します。

③DB エンジンである Microsoft Access の Runtime と通話情報管理装置アプリケーションの2つをインストールします。各々のインストール手順を、以下に示します。

"Microsoft Access 2000 Runtime" のインストール

#### Windows 2000/XP の場合

①"InstallLauncher.exe"を実行します。

「Access2000 Runtime インストール」ボタンをクリックします。

å	InstallLauncher	
	通話情報管理装置インストール	Access2000 Runtime インストール
	【使用許諾契約書】 本契約法当社の周辺がです。本契約によって許認さ などの高いた著称、当社が著作権を有子うついつ してなどを使用する。 として成せます。本契約は自然です。体現的目式、本契約書 あよびノフトウェア製品を構入目にごを却下さい。	
	(第一条) 本契約対象となるソフトウェア製品とは、当社が提供する 「高齢信報管理装置」及びバ通話情報管理装置 取扱説明書 」を登味します。	
	【第二条】 当社は、本契約に基づきお客欄に対してソフトウェア製品の 譲渡不能かつ非独占の日本国内における第三条に内容を ⊻	通話情報管理装置 インストール

②「インストールの確認」を表示します。





既に"Access2000 Runtime(2002/2003/2007 も含む)"をインストール済の場合には、上記の確認 画面を表示しますので「いいえ」をクリックして下さい。 "Microsoft Access 2000 Runtime"のインストールする必要はありませんので、"通話情報管理 装置ソフトウェア"のインストール"を行ってください。

- ③「はい」ボタンをクリックします。
- ④「今すぐインストール」ボタンをクリックします。

🔂 Microsof	t Access 2000 ランタイム版:インストールの準備 📃 🗖 🔀
	<b>今すぐインストール①</b> Microsoft Access 2000 ランタイム版 を C*Program Files¥Microsoft Office¥ART にインスト ール
	<b>カスタマイズ(U)</b> Microsoft Access 2000 ランタイム版 のインストール先を指定してください

⑤「OK」ボタンをクリックします。

🛱 Microsoft Access 2000 Runtim	e tzy 🚺
Microsoft Access 2000 SR-1 Runtime。 ヺが正常に終了しました。	のセットアッ

⑥以上で完了です。

"Microsoft Access 2007 Runtime"のインストール

Windows Vista/Server2008 の場合

①"InstallLauncher.exe"を実行します。

「Access2007 Runtime インストール」ボタンをクリックします。

通話情報管理装置インストール	Access2007 Runtime インストール
更用許諾契約書】 ▲	
「契約」は、当社との間の契約です。本契約によって許諾さ しるところに従いお客様が、当社が著作権を有するソフトウ	
エア製品を使用することにより、お客様は本契約に同意した ―― ことになります。本契約に同意できない、場合には、本契約書 トレストローン製品を構え、ほこつに見れておい、	
カムン ノンドウエア 設合で満入口にこことが下るい。	
【第一条】 本契約の対象となるソフトウェア製品とは、当社が提供する「	
週話情報管理装置」及び1週話情報管理装置 収扱記明書」 を意味します。	
【第二条】 当社は「木契約に基づきお客様に対していつトウェア製品の」	
譲渡不能かつ非独占の日本国内における第三条に内容を	通話情報管理装置 インストール

②「インストールの確認」を表示します。

い。 お使いの M す。 このままイ	licrosoft(R) Access ンストールを継続し	が正常に動作した てもよろしいでし	なくなることがあり しょうか?
-----------------------------	----------------------------------	----------------------	--------------------

③「はい」ボタンをクリックします。

④「ライセンス条項」を表示します。

シストールを続けるには	マイクロソフト ソフトウェア ライ	センス条項に同意する。	ら要があります。		
דימארע ארעמע ד	ライヤッス巻道				
MDROSOFT OFFICE まマイクロソフト ライセン 真成します。以上下のライ 本ソフトウェア」といいま ・更新プログラム。 ・道加ソフトウェア ・インターネットペースの	AGCEESS 2007 RUNTIME ス泰項 (以下下本ライセンス泰 サンス泰項を主意してお読み) す) に適用されます。また、本言 0サービス	項」といいます)は、お優 だだい。本ライセンス奏び ドロンス奏项は下記マー	日間と Microsoft Corpor 真体、上記のソフトウェアを イクロソフト関連数(Galeも)	tion はよ下「マイクロソフト」 はひソフトウェア加己縁され 面用されるものとします。	としくいます)との契約を た蝶(す (に)下総称して
・ サポート ワーヒム かし、これらの製品に をソフトウェアを使用する とはできません。	BAライセンス奏項が付属して ことにより、お客様が本ライセ	いる場合は、当該ライセンス条項に同意されたも	シス条項が適用されるもの のとします。本ライセンス達	かします。 。頃に同意されない場合、ス	ホソフトウェアを使用するー
5春秋が本ライモンスの インストールおよび使 マイスにインストールして D24使用することができ 、追加の時間を得たよ	加た300+サム、とを金件に、と りに関する権利。お客様は、え 売用することができます。お客様 は、 い使用和認。	客種には以上がいもい。 客種のプログラムの回動 劇は本ソフトウェアを、お	れます。 れ、開発、およびテストを行 客様の非データペース管理	わために、本ソフトウェアの神 見プログラムにデータペース相	変製1 部をお客様のデ R総を提供する目のに
a. 再配布可能コード。 DVLます。	本ソフトウェアには、お客様が	開発されたプログラムに言	おめて再配布可能なコート	が含まれています。ただし	、以下の条件に従うも
i. 使用および再配布 * 両配布可能ファ ficrosoft Office アドイ	の権利。以下に記載するコー (ル。お客様は、本ライセンス) ン ソフトウェアのオブジェクト コ	ドおよびテキスト ファイル 約月届しているコードをオ ード形式を抽動して配る	を「再配布可能コード」と プジェクトコード形式で補 筆することができます。マ	定義します。 「劇して配布することができ」 イクロソフトは、Microsoft C	tす。お客様は、2007 Mfice Access 2007
untime ソフトウェアとー *第三者による再	諸に使用する場合に取り、門 に布。お客様は、お客様のプロ	ンFまたは XPS ファイル 1グラムの配布者に対し	C114年します。 て、お客様のプログラムの・	-部として再配布可能コー	ドの視聴および配布を
ii. 頒布の条件。おき * お客様のブログラ	種は、お客種が配布するすべ ムにおいて再配布可能コート	ての再配布可能コート こ重要な新しい根範をは ユーザーに、本ライセン	に対して、以下の条項には 自知すること ス条項と同等以上に再配	どわなければなりません。 と布可能コードを保護するよ	い項に同意させること

⑤「同意するには・・・」にチェックを入れ「次へ」ボタンをクリックします。

⑥「OK」ボタンをクリックします。



⑦以上で完了です。

"通話情報管理装置ソフトウェア"のインストール

①引き続き、「通話情報管理装置 インストール」ボタンをクリックします。

🔏 InstallLauncher	E Contraction of the second
通話情報管理装置インストール	Access2000 Runtime インストール
【使用許諾契約書】	<u> </u>
本契約は、当社との間の契約です。本契約によって許諾されるところには、時者権が、当社が著作権を有するソフトウ こで製品を使用することは、あ客権は水差約に司意した ことしております。本契約に同意できない場合には、本契約書 およびハフトウェア製品を導入店にご返却下さい。	
【第一条】 本契約の対象となるシフトウェア製品とは、当社が提供する 「通話情報管理装置」及び「通話情報管理装置取扱説明書 」を意味します。	
【第二条】 当社は、本契約に基づきお客補に対してソフトウェア製品の 譲渡不能かつ非独占の日本国内における第三条に内容を	▲ 通話情報管理装置 インストール

#### ②「次へ」ボタンをクリックします。

🐻 通話情報管理装置 - Ins	:tallShield ウィザード
	通話情報管理装置用のInstallShield ウィザードへようこそ
	InstallShield(8) ウィザードは、ご使用のコンピュータへ 通話 情報管理装置をインストールします。「次へ」をクリックして、 続行してください。
A.	警告: このブログラムは、著作権法および国際協定によって保護 されています。
	〈戻る個〉 【次へ似〉 キャンセル

③"使用許諾契約の条項に同意します"を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



④"すべて"を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



⑤「インストール」ボタンをクリックします。



⑥「完了」ボタンをクリックします。

🕞 通話情報管理装置 - In:	stallShield ウィザード 🛛 🕅
	hataliShield ウィザードを完了しました hataliShield ウィザードも完了しました hataliShield ウィザードは、通話情報管理装置 を正常にイン ストールしました。「完了」をクリックして、ウィザードを終了し てください。
	< 戻る(図) <b>先了(5)</b> キャンセル

⑦「×」ボタンをクリックします。

🛃 InstallLauncher	
通話情報管理装置インストール	Access2000 Runtime インストール
【使用許諾契約書】 🔼	Ī
本契約は、当社との間の契約です。本契約によっては話さ れるとうこのは、赤澤維が、当社が案件構築有すな、ワトウ たるとうのは、赤澤維、当社が案件構築有すな、ワトウ たるとなります。本契約1回数できな、場合には、本契約書 あよびシフトウェア製品を増入店にこ述却下さい。	
【 差一条】 本契約の対象となるソフトウェア製品とは、当社が提供する 「急酸活動物理球選」及びバ通話情報管理球選 取扱説明書 」を意味します。	
【第二条】 当社は、本契約に基づきお客様に対してソフトウェア製品の 課度不能かつ非独占の日本国内における第三条に内容を ✓	通話情報管理装置 インストール

⑧以上で完了です。

ご注意

Windows Vista はソフトのインストールプロセスを検出し、正常にインストール処理が完了しているかを チェックする機能が動作している為、"InstallLauncher. exe"を実行後、インストールを行わず「×」ボ タンで終了をすると「プログラム互換性アシスタント」ダイアログが表示されます。

その場合は「このプログラムは正しくインストールされました」項目をクリックしてダイアログを閉じてください。(以後ダイアログは表示しなくなります。)

"通話情報管理装置ソフトウェア"のアンインストール

#### Windows 2000/XP の場合

Windows のコントロールパネルの [プログラムの追加と削除]から、「通話情報管理装置」を選択し、削除して下さい。

### Windows Vista/Server2008 の場合

Windows のコントロールパネルの [プログラムと機能]から、「通話情報管理装置」を選択し、削除して下さい。

■バージョン2.0以降 本ソフトウェアのアンインストールではデータファイル、及び ini ファイルの削除は行わ れません。
■バージョン2.0以前 本ソフトウェアのアンインストールを行った場合、データファイル、及び ini ファイルが 削除されますので、アンインストールを行う前にデータのバックアップを必ず行ってくだ さい。
データは以下のフォルダに格納されています。※デフォルトインストール時 Windows2000/XP : C:¥Program Files¥SAXA¥CallMng¥CallMng.mdb、CallMng.ini バックアップしなかった場合、データコンバートができなくなります。データコンバート の方法については 45 ページを参照して下さい。

## 通話情報管理装置アプリケーションの起動・終了

通話情報管理装置アプリケーションを起動する

通話情報管理装置アプリケーションを起動するには【スタート】ボタンをクリックし、スタートメニューから[すべてのプログラム]--[通話情報管理装置]--[通話情報管理装置]を選択します。 通話情報管理装置アプリケーションが起動すると、以下の「メイン画面」を表示します。

通話情報管理装置			
通話明細表示			
通話料金集計			
パスワード			
	終了		
主装置と通信できません。 ネットワークと主装置の設定を確認してください。		Ţ	$\bigcirc$
通話料金を計算できません。 削除/課金ダイヤルテーブルを設定してください。			2

No.	名称	概要
1	通信状態表示ラベル	主装置との通信ができない場合に、以下のメッセージを表示し
		ます。
		《メッセージ》
		主装置と通信できません。
		ネットワークと主装置の設定を確認してください。
2	ダイヤルテーブル設定状態表	課金ダイヤルテーブルが未設定の場合に、以下のメッセージを
	示ラベル	表示します。
		≪メッセージ≫
		通話料金を計算できません。
		削除/課金ダイヤルテーブルを設定してください。

※ 通話情報管理装置アプリケーション起動時に主装置と接続できない場合は、エラー画面が表示さ れます。



通話情報管理装置アプリケーションを終了する

方法1:「メイン画面」からの終了

①「メイン画面」の「終了」ボタンをクリックすると、「終了確認」画面を表示します。

②「はい」ボタンをクリックします。

すると「通話情報管理装置アプリケーション」が終了します。

方法2:メイン画面からの終了

①「メイン画面」右上にある×印をクリックすると、「終了確認」画面を表示します。

②「はい」ボタンをクリックします。

すると「通話情報管理装置アプリケーション」が終了します。

### 通話情報管理装置アプリケーション 環境設定

通話情報管理装置アプリケーションを動作させるために、インストール後 以下の手順で環境設定 を行ってください。

≪通話情報管理装置アプリケーション≫

①パスワード設定

※パスワードにより他の人が無断で本アプリケーションを設定変更することを防ぐことができま すので、パスワード設定を推奨します。

- ②削除ダイヤルテーブル設定
- ③課金ダイヤルテーブル設定
- ④回線/ダイヤルイン名称設定
- ⑤テナント名称設定
- ⑥主装置設定

※主装置設定を有効にするには、本アプリケーションの再起動が必要となります。

※主装置との通信を他のパソコンなどから無断で行うのを防ぐ為に、主装置設定とあわせてパス ワードを登録することを推奨します。

#### ≪接続する主装置≫

⑦接続する主装置の「保守データ番号 818:通話管理装置接続」を「1:接続あり」に設定します。 (お買い上げ時は、「0:接続なし」の設定です。)

⑧接続する主装置の「保守データ番号 819:通話管理パスワード」を設定します。(お買い上げ時は、 パスワードは「未登録」の設定です。)



【環境設定を行うには】

1 「メイン画面」でパスワードを入力します。

※インストール直後は「パスワード」が未設定のため、パスワードを入力する必要はありません。

2 「メイン画面」の「設定変更」ボタンをクリックします。

3 以下の「設定変更」画面を表示します。

設定変更	
削除ダイヤルテーブル設定	課金ダイヤルテーブル設定
回線/ダイヤルイン名称設定	テナント名称設定
主装置設定	バスワード設定
	開じる

【パスワード設定を行う】
 本アプリケーションを設定変更する際の「パスワード」を設定します。
 ※最大3組の設定が可能です。
 ※表示は登録順で行います。
 ※パスワードにより他の人が無断で本アプリケーションを設定変更することを防ぐことができますので、パスワード設定を推奨します。

1 「設定変更」画面の「パスワード設定」をクリックすると、「パスワード設定」画面を表示します。

パスワード設定			×
	パスワード		
2 3			
肖耶余		保存	閉じる

2データの編集を行います。

◆データ新規登録/編集

- ・空欄行、もしくは編集した行へカーソルを移動し、ダブルクリックします。
- ・データを入力し、リターンキーを押下します。

No.	項目名	説明
1	パスワード	パスワードを入力します。
		※1~16桁の半角英数字

◆データ削除

・データ削除する行にカーソルを移動し、「削除」ボタンをクリックします。

3編集したデータを保存します。

・「保存」ボタンをクリックすると、「保存確認」メッセージを表示しますので「はい」ボタンを クリックします。

※登録したデータに重複がある場合には、「設定エラー」メッセージを表示します。「設定エラー」 メッセージを閉じた後に、最初に重複するデータにカーソルが移動しますので、操作2に戻り 再 度 編集作業を行ってください。



4 「パスワード設定」画面の「閉じる」ボタンをクリックし、「設定変更」画面に戻ります。

【削除ダイヤルテーブル設定を行う】 通話料金を算出するための「削除ダイヤルテーブル」を設定します。 ※最大 100 組の設定が可能です。 ※表示はダイヤルパターンの桁数の降順で行います。

**1** 「設定変更」画面の「削除ダイヤルテーブル設定」をクリックすると、「削除ダイヤルテーブル設定」画面を表示します。

削除	まダイヤルテーブル設定	×
	ガイヤルパターン	•
1		-
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
28		-
00		
Ĥ	IDR CSV入力 CSV出力 印刷 保存 閉じる	



本アプリケーションをインストールした直後には、初期データを CSV ファイルよりインポ ートする必要がありますので、操作2を実施してください。 既に、初期データをインポート済の場合には、操作3から実施してください。

2 初期データをインポートします。

・「CSV入力」をクリックすると、「ファイルを開く」画面を表示します。

ファイルを開く	?	×
ファイルの場所①:	🞯 デスクトッフ 💽 🗲 🖹 💣 🖽•	
<ul> <li>□ マイ ドキュメント</li> <li>□ マイ コンピュータ</li> <li>□ マイ ネットワーク</li> </ul>		
ファイル名(N):	聞く②	]
ファイルの種類(工):	CSV ファイル(*.csv) ・ キャンセル	

- ・入手しました CSV ファイルを選択し、「開く」をクリックします。
- ・CSV ファイルより読み込みましたデータを表示します。

## 3 データの編集を行います。

- ◆データ新規登録/編集
  - ・空欄行、もしくは編集したい行へカーソルを移動し、ダブルクリックします。
  - ・データを入力し、リターンキーを押下します。

No.	項目名	説明
1	ダイヤルパターン	削除ダイヤルパターンを入力します。
		※半角数字 0~9、*、#で 1~8 桁

◆データ削除

・データ削除する行にカーソルを移動し、「削除」ボタンをクリックします。

### 4 編集したデータを保存します。

・「保存」ボタンをクリックすると、「保存確認」メッセージを表示しますので「はい」ボタンを クリックします。

※登録したデータに重複がある場合には、「設定エラー」メッセージを表示します。「設定エラー」 メッセージを閉じた後に、最初に重複するデータにカーソルが移動しますので、操作3に戻り 再 度 編集作業を行ってください。

設定	[ラー 🛛 🔀
⚠	設定された内容が不正か、重複設定しています。 設定し直してください。
	ОК

5 「削除ダイヤルテーブル設定」画面の「閉じる」ボタンをクリックし、「設定変更」画面に戻ります。

【課金ダイヤルテーブル設定を行う】 通話料金を算出するための「課金ダイヤルテーブル」を設定します。 ※最大 200 組の設定が可能です。 ※表示はダイヤルパターンの桁数の降順で行います。

**1** 「設定変更」画面の「課金ダイヤルテーブル設定」をクリックすると、「課金ダイヤルテーブル設定」画面を表示します。

課金	<sub>全</sub> ダイヤルテーブル設定	ŧ		×
	ダイヤルバターン	単位時間(秒)	単位料金(円)	•
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				_
10				_
11				_
12				_
13				_
14				_
15				_
15				_
17				_
10				- 1
20				_
20				_
22				_
22				- 1
20				-
25				_
26				_
27				
28				
29				
30				-
肖	「除 CSV入力 CSV	出力 印刷	保存 閉じ	3

ご注意

本アプリケーションをインストールした直後には、初期データを CSV ファイルよりインポ ートする必要がありますので、操作2を実施してください。 既に、初期データをインポート済の場合には、操作3から実施してください。

2 初期データをインポートします。

・「CSV入力」をクリックすると、「ファイルを開く」画面を表示します。

ファイルを開く	?	×
ファイルの場所①:	🞯 デスクトッフ 💽 🖛 🖹 📴 -	
<ul> <li>□マイドキュメント</li> <li>□マイコンピュータ</li> <li>□マイネットワーク</li> </ul>		
ファイル名(N):	■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	Ξ
ファイルの種類(工):	CSV ファイル(*.csv) ・ キャンセル	

- ・入手しました CSV ファイルを選択し、「開く」をクリックします。
- ・CSV ファイルより読み込みましたデータを表示します。

## 3 データの編集を行います。

- ◆データ新規登録/編集
  - ・空欄行、もしくは編集したい行へカーソルを移動し、ダブルクリックします。
  - ・データを入力し、リターンキーを押下します。

No.	項目名	説明
1	ダイヤルパターン	課金ダイヤルパターンを入力します。
		※半角数字 0~9、*、#で 1~8 桁
2	単位時間(秒)	ダイヤルパターンに対応する単位時間を入力します。
		※入力範囲は"0~999"
3	単位料金(円)	ダイヤルパターンに対応する単位料金を入力します。
		※入力範囲は"0.0~99.9"

◆データ削除

・データ削除する行にカーソルを移動し、「削除」ボタンをクリックします。

4 編集したデータを保存します。

・「保存」ボタンをクリックすると、「保存確認」メッセージを表示しますので「はい」ボタンを クリックします。

※ダイヤルパターン、単位時間(秒)、単位料金(円)の何れかに空欄がある場合には、「設定エラー」 メッセージを表示します。「設定エラー」メッセージを閉じた後に、空欄セルのある行の先頭にカ ーソルが移動しますので、操作3に戻り再度編集作業を行ってください。

※登録したデータに重複がある場合には、「設定エラー」メッセージを表示します。「設定エラー」 メッセージを閉じた後に、最初に重複するデータにカーソルが移動しますので、操作3に戻り再 度編集作業を行ってください。



5 「課金ダイヤルテーブル設定」画面の「閉じる」ボタンをクリックし、「設定変更」画面に戻ります。

【回線/ダイヤルイン名称設定を行う】
「回線/ダイヤルイン名称」を設定します。
※最大 192 組の設定が可能です。(V1.41 以前) 最大 492 組の設定が可能です。(V2.0 以降)
※表示は SC 番号の昇順で行います。
※ダイヤルイン名称設定は V2.0 以降で設定可能です。

**1** 「設定変更」画面の「回線/ダイヤルイン名称設定」をクリックすると、「回線/ダイヤルイン名称設定」画面を表示します。

回線/ダイ	アルイン名称設定			X
	SC番号	回線/ダイヤルイン名称	グループ番号	•
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				_
8				
9				
10				_
11				_
12				_
13				
14				_
15				_
10				_
10				_
10				- 1
20				
20				
22				
23				- 1
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				-
	1			
 			保存閉じ	る

# 2 データの編集を行います。

- ◆データ新規登録/編集
  - ・空欄行、もしくは編集したい行へカーソルを移動し、ダブルクリックします。
  - ・データを入力し、リターンキーを押下します。

No.	項目名	説明
1	SC 番号	回線の SC 番号を入力します。
		※接続する主装置の「保守データ番号 219:SC 主テナント」に登録さ
		れている SC 番号(01.00~31.99)を設定します。
2	回線/ダイヤルイン名称	SC 番号に対応する名称を入力します。
		※半角換算 0~16 桁の半角/全角文字
3	グループ番号	SC 番号に対応するグループ番号を入力します。
		※入力範囲は"0~9999"

1)保守データの設定につ	oいては、販売店にご相	談ください。	
2)回線/ダイヤルイン名称 表示条件「回線/ダイイ	がは、通話明細表示/i ャルイングループ指定」	通話料金集計表示におい を選択した場合の選択	て通話情報の項目及び
「回線/ダイヤルインク	ブループ指定」で選択す	る項目には、同一グルー	ープ番号内の SC 番号が
若番の回線名称を表示し	します。そのため、設定	定を行う際には、以下の	規約に従い登録を行っ
てください。			
《回線/ダイヤルイン名	3称の設定規約≫		
同一グループ内で、SC	こ番号の若番の回線名利	なには「グループ番号+	回線/ダイヤルイン名称」
を登録してください。	以下に例を示します	0	
【設定個】			
、	回線/ダイヤルイン	グループ番号	記事
	之称 之称		
04.00	1000:0312341000	1000	ISDN 回線
<b>04.00</b> 04.01	1000:0312341000           0312341000	<b>1000</b> 1000	ISDN 回線 ISDN 回線
<b>04.00</b> 04.01 04.02	1000:0312341000           0312341000           0312342000	<b>1000</b> 1000 1000	ISDN 回線 ISDN 回線 ISDN 回線
04.00           04.01           04.02           04.03	1000:0312341000         0312341000         0312342000         0312342000	<b>1000</b> 1000 1000 1000	ISDN 回線 ISDN 回線 ISDN 回線 ISDN 回線
04.00           04.01           04.02           04.03           20.00	1000:0312341000         0312341000         0312342000         0312342000         0312342000         0312341001	1000 1000 1000 1000 1000	ISDN 回線         ISDN 回線         ISDN 回線         ダイヤルイン
04.00           04.01           04.02           04.03           20.00           20.01	1000:0312341000         0312341000         0312342000         0312342000         0312342000         0312342000         0312342000         0312342001	<b>1000</b> 1000 1000 1000 1000 1000 1000	ISDN 回線         ISDN 回線         ISDN 回線         ダイヤルイン         ダイヤルイン
04.00           04.01           04.02           04.03           20.00           20.01           30.00	1000:0312341000         0312341000         0312342000         0312342000         0312342000         0312342000         0312342000         0312342000         0312342000         0312342000         0312342000         0312342000         0312342000         0312342001         2000:05012345678	1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 2000	ISDN 回線         ISDN 回線         ISDN 回線         ダイヤルイン         ダイヤルイン         ドア回線
04.00           04.01           04.02           04.03           20.00           20.01           30.00           30.01	1000:0312341000         0312341000         0312342000         0312342000         0312342000         0312342001         0312342001         2000:05012345678         05012345679	1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 2000 2000	ISDN 回線         ISDN 回線         ISDN 回線         ダイヤルイン         ダイヤルイン         ドワー線         IP 回線
04.00         04.01         04.02         04.03         20.00         20.01         30.00         30.01         30.02	1000:0312341000         0312341000         0312342000         0312342000         0312342000         0312342001         0312342001         2000:05012345678         05012345679         05012345680	1000           1000           1000           1000           1000           1000           1000           2000           2000	ISDN回線         ISDN回線         ISDN回線         ダイヤルイン         ダイヤルイン         ド回線         IP回線         IP回線
04.00         04.01         04.02         04.03         20.00         20.01         30.00         30.01         30.02         30.03	1000:0312341000         0312341000         0312342000         0312342000         0312342001         0312342001         2000:05012345678         05012345679         05012345681	1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 2000 2000 2000 2000	ISDN 回線         ISDN 回線         ISDN 回線         ISDN 回線         ダイヤルイン         ダイヤルイン         ド回線         IP 回線         IP 回線         IP 回線

◆データ削除

・データ削除する行にカーソルを移動し、「削除」ボタンをクリックします。

# 3編集したデータを保存します。

・「保存」ボタンをクリックすると、「保存確認」メッセージを表示しますので「はい」ボタンを クリックします。

※SC番号、回線/ダイヤルイン名称、グループ番号の少なくとも1つが入力済みでSC番号、グループ 番号の何れかが空欄の場合には、「設定エラー」メッセージを表示します。「設定エラー」メッセージを閉 じた後に、その行の空欄である一方のセルにカーソルが移動しますので、操作2に戻り再度編集作業を 行ってください。

※登録した SC 番号に重複がある場合には、「設定エラー」メッセージを表示します。「設定エラー」メッセージを閉じた後に、最初に重複するデータにカーソルが移動しますので、操作2に戻り再度編集作業を行ってください。

設定	19- 🗙
1	設定された内容が不正か、重複設定しています。 設定し直してください。
	OK

**4**「回線/ダイヤルイン名称設定」画面の「閉じる」ボタンをクリックし、「設定変更」画面に 戻ります。 【テナント名称設定を行う】
「テナント名称」を設定します。
※最大 32 組の設定が可能です。
※表示はテナント番号の昇順で行います。

1 「設定変更」画面の「テナント名称設定」をクリックすると、「テナント名称設定」画面を表示します。

テナン	ト名称設定		X
	テナント番号	テナント名称	
1	00	27 2 1 Can	
2	01		
3	02		
4	03		
5	04		
6	05		
7	06		
8	07		
9	08		
10	09		
11	10		
12	11		
13	12		
14	13		
15	14		
16	15		
17	16		
18	17		
19	18		
20	19		
21	20		
22	21		
23	22		
24	23		
25	24		
26	25		
27	26		
28	27		
29	28		
30	29		•
i	juB余	保存 閉じる	

※V2.0では、テナント番号に初期値として00~31が登録されています。

## 2 データの編集を行います。

- ◆データ新規登録/編集
  - ・空欄行、もしくは編集したい行へカーソルを移動し、ダブルクリックします。
  - ・データを入力し、リターンキーを押下します。

No.	項目名	説明
1	テナント番号	テナント番号を入力します。
		※接続する主装置の「保守データ番号104:テナント」に登録されてい
		るテナント番号(半角文字:00~31)を設定します。
2	テナント名称	テナント番号に対応する名称を入力します。
		※接続する主装置の「保守データ番号311:テナントネーム」に登録さ
		れているテナント名称を設定します。
		※半角換算 0~32 桁の半角/全角文字



保守データの設定については、販売店にご相談ください。

◆データ削除

・データ削除する行にカーソルを移動し、「削除」ボタンをクリックします。

3編集したデータを保存します。

・「保存」ボタンをクリックすると、「保存確認」メッセージを表示しますので「はい」ボタンを クリックします。

※テナント名称が入力済みでテナント番号が空欄の場合には、「設定エラー」メッセージを表示します。「設定エラー」メッセージを閉じた後に、その行のテナント番号のセルにカーソルが移動しますので、操作2に戻り再度編集作業を行ってください。

※登録したテナント番号に重複がある場合には、「設定エラー」メッセージを表示します。「設定 エラー」メッセージを閉じた後に、最初に重複するデータにカーソルが移動しますので、操作2 に戻り再度編集作業を行ってください。

設定コ	[ラー 🔀
1	設定された内容が不正か、重複設定しています。 設定し直してください。
	OK

4 「テナント名称設定」画面の「閉じる」ボタンをクリックし、「設定変更」画面に戻ります。

【主装置設定を行う】

主装置との接続するための「IP アドレス等」を設定します。

主装置設定				×
主装置IPアドレス 1	ポート番号	ログインパスワード	切断時再接続 する	•
		保存		òÌ

1 「設定変更」画面の「主装置設定」をクリックすると、「主装置設定」画面を表示します。

▲ 以下の項目を入力します
---------------

No.	項目名	説明		
1	主装置 IP アドレス	主装置接続用の IP アドレスを入力します。		
		※接続する主装置の「保守データ番号 800: IP アドレス<メンテ用>」		
		に登録されている IP アドレスを設定します。		
		※IPアドレスの数字の前にゼロは付けないでください。		
		≪例≫【止】 "172.16.1.1"、【誤】"172.016.001.001"		
2	ポート番号	主装置接続用のポート番号を入力します。		
		※接続する主装置の「保守データ番号817:通話管理装置ポート番号」		
		に登録されているポート番号を設定します。		
3	ログインパスワード	主装置接続用のログインパスワードを入力します。		
		※接続する主装置の「保守データ番号819:通話管理パスワード」に登		
		録されているパスワードを設定します。		
4	切断時再接続	主装置との通信が切断した場合に自動的に再接続するか否かを設定し		
		ます。		
		※「する」の設定を推奨します。		



保守データの設定については、販売店にご相談ください。

3 「保存」ボタンをクリックすると、「保存確認」メッセージを表示します。

保存確認	×
(2) 保存しま	す。よろしいですか?
	()()Ž( <u>N</u> )

**4** 「はい」をクリックすると入力した内容が保存され、「保存確認(再起動要請)」メッセージを 表示します。

保存研	准認 🔀
⚠	設定を有効にするには、アプリケーションを再起動してください。
	ОК

※主装置 IP アドレス、ポート番号の一方または両方が空欄の場合には、「設定エラー」メッセージを表示します。「設定エラー」メッセージを閉じた後に、カーソルが IP アドレスのセルに移動 しますので、操作2に戻り再度編集作業を行ってください。

設定	[7- 🛛 🔀
1	設定された内容が不正か、重複設定しています。 設定し直してください。
	ОК

- 5 [OK]  $e \neq 0$   $y \neq 0$   $b \neq 0$
- 6 「主装置設定」画面の「閉じる」ボタンをクリックし、「設定変更」画面に戻ります。
- 7 「設定変更」画面の「閉じる」ボタンをクリックし、「メイン画面」に戻ります。
- 8 通話情報管理装置アプリケーションを終了させます。
- 9 通話情報管理装置アプリケーションを再起動させます。
- 10「通信開始」メッセージを表示しますので、「OK」ボタンをクリックします。

通信開始	
(	主装置との通信を開始しました。
	COK

## 通話明細表示について

通話明細を表示、印刷、CSV ファイル出力(拡張子 TXT でも出力可能)することができます。 通話明細は、通話開始時刻の昇順で表示します。

1 「メイン画面」の「通話明細表示」をクリックすると、「通話明細表示」画面を表示します。

	3
	j 通話明編表示
	表示条件     2009 年 16 月 11 日 00 時 00 分 ~ 年 月 日 時 分       ○ テナント指定     (すべつ ~ 第著信(すべつ ~ の回線/ダイヤルイングループ指定 (すべつ) ~ 表示 最新へ移動 最古へ移動
④~ ➡	開始時刻 相手先ダイヤル番号 通話時間 回線名称 ダイヤルイン名称 テナント名称 内線番号
	CSV出力 印刷 開じる

# 2 表示条件を指定します。

No.	条件	説明			
1	開始年月日、終了年月日	通話詳細表示の開始、終了年月日を入力します。			
		※終了年月日≧開始年月日で入力してください。			
		※年、月、日のそれぞれの入力範囲は以下の通りです。			
		年:2000~2099			
		月:1~12			
		日:1~31			
2	グループ	テナント指定、内線指定、回線/ダイヤルイングループ指定の何れかを選			
		択します。			
		選択したグループにより、以下の条件を選択、或いは入力します。			
		※「テナント指定」を選択した場合			
		⇒リストから何れかのテナントを選択ください。「全てのテナント」			
		を指定する場合は、(すべて)を選択してください。			
		※「内線指定」を選択した場合			
		⇒開始と終了内線番号を入力します。開始と終了番号は同一桁、終了			
		内線番号≧開始内線番号で入力してください。			
		⇒特定の内線番号を選択する場合には、開始内線番号を入力後、カー			
		ソルを終了内線番号に移動し F8 キー(COPY キー)を押下してくださ			
		※「回線/ダイヤルイングループ指定」を選択した場合			
		⇒リストから何れかの回線/ダイヤルイングループを選択ください。			
		「全ての回線/ダイヤルイングループ」を指定する場合は、(すべて)			
		を選択してください。			
3	表示内容形式	(V1.41以前)			
		通話種別が「発信」のみの通話明細を表示するか、通話種別「発信」「着信」			
		両方を表示するかを選択します。			
		(V2.0以降)			
		表示する内容を通話種別			
		発着信(すべて) 発着信(応答のみ) 発着信(未応答のみ)			
		発信のみ(すべて) 発信のみ(応答のみ) 発信のみ(未応答のみ)			
		着信のみ(すべて) 着信のみ(応答のみ) 着信のみ(未応答のみ)			
		上記9種類より選択します。			

3 「表示」ボタンをクリックすると、指定した表示条件の通話明細情報を表示します。

※表示条件に誤りがある場合には、「条件エラー」メッセージを表示します。「条件エラー」メッ セージを閉じた後に、最初に誤りがあるデータの先頭にカーソルが移動しますので、操作2に戻 り再度表示条件の入力を行ってください。



4 「最新へ移動」ボタンをクリックすると、最新の通話明細情報にジャンプします。 また、「最 古へ移動」ボタンをクリックすると、最古の通話明細情報にジャンプします。

No.	表示項目	説明
4	開始時刻	開始時刻を表示します。
		<b>*</b> "2000/01/01 01:01~2099/12/31 23:59"
5	相手先ダイヤル番号	相手先ダイヤル番号を表示します。
		※0~32桁の数字、#、*、P
6	通話時間	通話時間を表示します。
		※"00:00:01~99:59:59(秒)"
$\bigcirc$	回線名称	通話に使用した回線名称を表示します。
		※回線/ダイヤルイン名称が登録されていない場合はSC番号
		を表示します。
8	ダイヤルイン名称	通話に使用したダイヤルイン名称を表示します。
		※着信時は、回線/ダイヤルイン名称が登録されていない場
		合、主装置から通知されたダイヤルイン SC 番号を表示します。
		例:「保守データ番号 554:ダイヤルイン対応 SC」
		「保守データ番号 556: i ナンバ対応 SC」
		※発信時は、網へ通知する発番号を表示します。
		例:「保守データ番号151:個別発番号」
		「保守データ番号 851: IP 契約番号」など
9	テナント名称	通話に使用した回線が属するテナント名称を表示します。
		※テナント名称が登録されていない場合はテナント番号を表
		示します。
		※留守番機能等で本システムが使用した場合、もしくは着信未
		応答の回線の場合は、テナント名称は非表示(空欄)となりま
		す。
10	内線番号	通話に使用した内線番号を表示します。
		※留守録機能、外線転送モード 等で本システムが使用した場
		合、もしくは着信未応答の回線の場合は、内線番号は"0"と
		なります。
(1)	通話料金	通話先ダイヤル番号から削除/課金ダイヤルテーブルを検索
		し算出した通話料金を表示します。
		※ISDN 網から最終料金がある場合には、最終料金または算出
		した通話料金の何れか高額な方を表示します。
		※「着信」の場合、通話料金は「 - (ハイフン)円」となり
		ます。
		※「発信」の場合において、主装置より料金の通知がなく、課
		金ダイヤルテーブル設定に設定がない場合には通話料金は
		- (ハイフン)円」となります。
12	通話種別	発信」または「着信」を表示します。未応答の場合は、それ
		ぞれの語尾に「(未応答)」を表示します。
13	備考	コメント欄



5 「通話明細表示」画面の「閉じる」ボタンをクリックすると、「メイン画面」に戻ります。

# 通話料金集計について

通話料金の集計結果を表示、印刷、CSV ファイル出力(拡張子 TXT でも出力可能)することができます。

1 「メイン画面」の「通話料金集計」をクリックすると、「通話料金集計」画面を表示します。

	_ 通話封全集計
1	集計条件 2009 年 107 月 01 日 00 時 00 分 ~ 2009 年 07 月 01 日 23 時 159 分 で テナント毎 (すべて)
2	<ul> <li>○ 内線毎 ~</li> <li>○ 回線/ダイヤルイングルーブ毎 (すべて) 実計 通話料金陰順 テナント昇順</li> </ul>
3~4	テナント名称 適話料金 ▲
	▲ 道話明編表示 CSV出力 ED刷 開ごる

# 2 表示条件を指定します。

No.	条件	説明			
1	開始年月日、終了年月日	通話料金集計表示の開始、終了年月日を入力します。			
		※終了年月日≧開始年月日で入力してください。			
		※年、月、日のそれぞれの入力範囲は以下の通りです。			
		年:2000~2099			
		月:1~12			
		日:1~31			
2	グループ	テナント毎、内線毎、回線/ダイヤルイングループ毎の何れか			
		を選択します。			
		選択したグループにより、以下の条件を選択、或いは入力しま			
		す。			
		※「テナント毎」を選択した場合			
		⇒リストから何れかのテナントを選択ください。「全ての			
		テナント」を指定する場合は、(すべて)を選択してくだ			
		さい。			
		<ul><li>※「内線毎」を選択した場合</li><li>⇒開始と終了内線番号を入力します。開始と終了番号は</li></ul>			
		⇒開始と終了内線番号を入力します。開始と終了番号は			
		同一桁、終了内線番号≧開始内線番号で入力してくださ			
		k ) <sub>o</sub>			
		⇒特定の内線番号を選択する場合には、開始内線番号を			
		入力後、カーソルを終了内線番号に移動し F8 キー(COPY			
		キー)を押下してください。			
		※「回線/ダイヤルイングループ毎」を選択した場合			
		⇒リストから何れかの回線グループを選択ください。「全			
		ての回線/ダイヤルイングループ」を指定する場合は、			
		(すべて)を選択してください。			

3 「集計」ボタンをクリックすると、指定した集計条件の通話料金の集計結果を表示します。 ※「テナント番号」/「内線番号」/「回線/ダイヤルイングループ番号」の昇順で表示します。 ※集計条件に誤りがある場合には、「条件エラー」メッセージを表示します。「条件エラー」メッ セージを閉じた後に、最初に誤りがあるデータの先頭にカーソルが移動しますので、操作2に戻 り再度集計条件の入力を行ってください。



4 「通話料金降順」ボタンをクリックすると、通話料金の降順で表示します。 また、「テナント昇順」/「内線昇順」/「回線/ダイヤルイングループ昇順」ボタンをクリックすると、テナント番号/内線番号/回線グループ番号の昇順で表示します。

No.	表示項目	説明			
3	グループ名	集計条件で選択したグループを表示します。			
		※「テナント毎」を選択した場合			
		⇒項目名称は「テナント名称」を表示します。			
		※「内線毎」を選択した場合			
		⇒項目名称は「内線番号」を表示します。			
		※「回線/ダイヤルイングループ毎」を選択した場合			
		⇒項目名称は「回線名称」を表示します。			
4	通話料金	集計時の集計単位毎の合計通話料金を表示します。			
		※集計した結果が"999,999,999円"を超えた場合は、			
		"999,999,999 円"と表示します。			

5 「通話明細表示」ボタンをクリックすると、「通話明細表示」画面に該当グループの通話明細情報を表示します。

6 「通話明細表示」画面の「閉じる」ボタンをクリックすると、「通話料金集計」画面に戻ります。

7 「通話料金集計」画面の「閉じる」ボタンをクリックすると、「メイン画面」に戻ります。

## CSVファイルについて

削除ダイヤルテーブル、課金ダイヤルテーブル、通話明細表示、通話料金集計を CSV ファイルに出力 することができます。

※ 削除ダイヤルテーブル、課金ダイヤルテーブルは、CSVファイルを入力することができます。

【CSVファイル出力方法】

※ どの画面でも操作方法は同じです。

1 画面下部の「CSV出力」ボタンをクリックすると、出力先の選択ウィンドウを表示されます。

2 出力先フォルダを選択、およびファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックすると、指定フォルダに CSV ファイルが出力されます。

※ファイル種別にて「テキストファイル(\*.TXT)」を選択すると、テキストファイルで保存できます。

【削除ダイヤルテーブルについて】

削除ダイヤルテーブルの一覧をインポート(入力)、或いはエクスポート(出力、拡張子 TXT でも出力 可能)するファイルです。

エクスポートーファイルには、ダイヤルパターンの降順で出力します。

インポート-ファイルは、ダイヤルパターンの昇順/降順を特に規定していません。

エクスポート-ファイルは、第1行目を"削除ダイヤルテーブル一覧"、2行目を列名称、3行目以降を実データとします。

インポートーファイルの第1行目、2行目は問いません。3行目以降に実データを記載してくださ い。第1行目、2行目に実データを記載しても入力されません。

【ファイル例】

「"削除ダイヤルテーブル一覧" "ダイヤルパターン"		
″11111111″ ″3333333″		
"77" "61"		
″999″ ″222″		
"186" "184"		
"113" "1"		
"***" "22"		
/ <i>"</i> 11 <i>"</i>		

※ダイヤルパターン入力条件は「半角数字 0~9、\*、#で 1~8 桁」です。

【課金ダイヤルテーブルについて】 課金ダイヤルテーブルの一覧をインポート(入力)、或いはエクスポート(出力、拡張子 TXT でも出力 可能)するファイルです。 エクスポート-ファイルには、ダイヤルパターンの降順で出力します。 インポート-ファイルは、ダイヤルパターンの昇順/降順を特に規定していません。 エクスポート-ファイルは、第1行目を"課金ダイヤルテーブル一覧"、2行目を列名称、3行目以 降を実データとします。 インポート-ファイルの第1行目、2行目は問いません。3行目以降に実データを記載してくださ い。第1行目、2行目に実データを記載しても入力されません。

【ファイル例】

"課金ダイヤルテーブル一覧",, "ダイヤルパターン", "単位時間 "12345678", "111", "13.4"" "11111111", "111", "11" "22222", "222", "22" "1492", "777", "99" "111", "111", "11"	(秒)	","単位料金	(円)	"

※ ダイヤルパターン入力条件は「半角数字 0~9、\*、#で 1~8 桁」です。

- ※ 単位時間(秒)の入力範囲は、「0~999」です。
- ※ 単位料金(円)の入力範囲は、「0.0~99.9」です。

【通話明細情報について】 通話明細情報の一覧をエクスポート(出力、拡張子 TXT でも出力可能)するファイルです。 エクスポートーファイルには、通話開始時刻の昇順で出力します。 第1行目を"通話明細一覧"、2~6行目を表示条件、第7行目を列名称、8行目以降を実データと します。

【ファイル例】

″通話明細一覧″
″期間″,,″2009 年 06 月 01 日 ~ ″
″●″, ″テナント指定″, ″(すべて)″
<i>" "</i> ,"内線指定 <i>"</i> , <i>" ~ "</i>
″ ″,″回線/ダイヤルイングループ指定″,″(すべて)″
"通話種別",,,"発着信(すべて)"
"開始時刻","相手先ダイヤル番号","通話時間","回線名称","ダイヤルイン名称","テナント名称","内線番号","通話料金","
単位","通話種別","備考"
"2009/06/18 15:47:11","","00:07:36","' 12.03",""," 08"," 1164","-"," 円"," 着信通話",""
"2009/06/18 15:47:28","","00:20:45","` 10.07","","` 07","` 1394","-","` 円","着信通話",""

【通話料金集計について】 通話料金集計の一覧をエクスポート(出力、拡張子 TXT でも出力可能)するファイルです。 エクスポート-ファイルには、テナント番号の昇順/内線番号の昇順/回線グループ番号の昇順、 又は、通話料金の降順で出力します。 第1行目を"通話料金集計結果"、2~5行目を集計条件、第6行目を列名称、7行目以降を実デー タとします。

【ファイル例】

"通話料金集計結果"
"期間",, "2009年06月01日00時00分~"
"●", "テナント毎", "(すべて)"
", "内線毎", "~"
", "回線/ダイヤルイングループ毎", "(すべて)"
"テナント名称", "通話料金", "単位"
"'00", "0", "'円"

## 印刷方法について

削除ダイヤルテーブル、課金ダイヤルテーブル、通話明細表示、通話料金集計を印刷することができ ます。

【印刷方法】

※ どの画面でも操作方法は同じです。

1 画面下部の「印刷」ボタンをクリックすると、「印刷確認」メッセージを表示されます。 (「※〇枚出力されます」は通話明細/通話料金の集計結果のみ表示します)





2 「はい」ボタンをクリックすると、指定した条件で印刷します。

	Access2003 使用時には、操作2にて以下のメッセージを表示しますが、「開く」ボタン リックしてください。指定した条件で印刷します。					
		セキュリティ警告 🛛 🗙				
ご注意		"C#Program Files¥SAXA¥CallMng¥CallMng_Prn.mdb"を開いています				
		このファイルに、意図的にお使いのコンピュータに損害を与えるコードが含まれる場合、ファイ ルは安全でない可能性があります。				
		<u></u> [账⓪				
			•			

### 【印刷例】

≪通話料金の集計結果≫

No.         テナント名称         通話料金           100         0           201         0           302         0           403         0           504         0           605         0           706         0           807         0           908         0
2         01         0           3         02         0           4         03         0           5         04         0           6         05         0           7         06         0           8         07         0
3 0 2       0         4 0 3       0         5 0 4       0         6 0 5       0         7 0 6       0         8 0 7       0         9 0 8       0
403     0       504     0       605     0       706     0       807     0
6 05 0 7 06 0 8 07 0 9 08 0
7 06 0 8 07 0 9 08 0
908
000
13 12 0
16 15 0
1918 0
20 19 0
23 22 0
26 25 0
27 26 0
29/28 0
30 29 0
31 30 0

# 各種メッセージについて

本アプリケーションで表示します各種メッセージを下記します。

1)「通信開始」メッセージ



N	o. 項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	「OK」ボタン	メッセージを確認した際に押下します。	—	デフォルトボ
				タン

#### 2)「通信切断」メッセージ



No.	項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	状況を説明する文	以下の何れかを表示します。	—	_
	字列	「ネットワークと主装置の設定を確認してく		
		ださい」※1		
		「主装置が見つかりませんでした。」※2		
		「主装置から応答がありませんでした。」※3		
		「別の装置が通信中です。(0x82)」※4		
		「パスワードを拒否されました。(0x83)」※4		
		「ログインを拒否されました。(0xXX)」※4		
2	「OK」ボタン	メッセージを確認した際に押下する。	—	デフォルトボ
				タン

※1:主装置と通信(TCP/IP 接続)できない場合に表示します。 「設定変更」-「主装置設定」が正しく行われているか、確認下さい。

※2:主装置と通信(TCP/IP 接続)できない場合に表示します。 主装置と PC の LAN 接続を確認下さい。

※3:主装置と通信(TCP/IP 接続)後、主装置がログインに応答しない場合に表示します。 「設定変更」-「主装置設定」が正しく行われているか、確認下さい。

※4:主装置と通信(TCP/IP 接続)後、主装置がログインを拒否した場合に表示します。括弧内に主装置から受信したエ ラーコードを表示します。

0x81>コマンドフォーマットが不正(主装置側のパスワード未設定等)

0x82>重複ログイン

0x83>パスワード不一致

0x84>非対応バージョン

#### 3)「終了確認」メッセージ



No.	項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	「はい」ボタン	終了する際に押下します。	—	デフォルトボ
				タン
2	「いいえ」ボタン	終了を取り止めて元の画面に戻る際に押下し	—	
		ます。		

### 4)「印刷確認」メッセージ



No.	項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	「はい」ボタン	印刷する際に押下します。	—	デフォルトボ
				タン
2	「いいえ」ボタン	印刷を取り止めて元の画面に戻る際に押下し	—	_
		ます。		

※「通話明細一覧」帳票、または「通話料金集計」帳票印刷時は、「印刷します。よろしいですか?」 の下に「※〇枚出力されます」(〇:印刷枚数)を表示します。

5)「保存確認」メッセージ



No.	項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	「はい」ボタン	保存する際に押下します。	—	デフォルトボ
				タン
2	「いいえ」ボタン	保存を取り止めて元の画面に戻る際に押下し	—	—
		ます。		

### 6)「上書確認」メッセージ



No.	項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	「はい」ボタン	上書き保存する際に押下します。	_	_
2	「いいえ」ボタン	上書き保存を取り止めて元の画面に戻る際に	—	デフォルトボ
		押下します。		タン

### 7)「編集済み設定の保存確認」メッセージ

保存確認	
⚠	処理を継続するには、編集済みの設定を保存する必要があります。 保存してもよろしいですか?

No.	項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	「はい」ボタン	保存する際に押下します。	—	—
2	「いいえ」ボタン	保存を取り止めて元の画面に戻る際に押下し	—	デフォルトボ
		ます。		タン

### 8)「破棄確認」メッセージ



No.	項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	「はい」ボタン	編集済みの設定を破棄して本画面を閉じる際	—	—
		に押下します。		
2	「いいえ」ボタン	編集済みの設定を破棄せず元の画面に戻る際	—	デフォルトボ
		に押下します。		タン

### 9)「パスワードエラー」メッセージ



No.	項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	「OK」ボタン	メッセージを確認した際に押下します。	—	デフォルトボ
				タン

10)「条件エラー」メッセージ



No.	項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	「OK」ボタン	メッセージを確認した際に押下します。	—	デフォルトボ
				タン

### 11) 「設定エラー」メッセージ



No.	項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	「OK」ボタン	メッセージを確認した際に押下します。	—	デフォルトボ
				タン

### 12)「読込失敗」メッセージ



No.	項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	「OK」ボタン	メッセージを確認した際に押下します。	—	デフォルトボ
				タン

13)「入力失敗」メッセージ



No.	項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	「OK」ボタン	メッセージを確認した際に押下します。	—	デフォルトボ
				タン

### 14)「出力失敗」メッセージ



No.	項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	「OK」ボタン	メッセージを確認した際に押下します。	—	デフォルトボ
				タン

### 15)「印刷失敗」メッセージ

印刷失期	2 🛛 🔀
♪	印刷できませんでした。 プリンタの設定を確認した上で、やり直してください。

No.	項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	「OK」ボタン	メッセージを確認した際に押下します。	—	デフォルトボ
				タン

### 16)「保存失敗」メッセージ



No.	項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	「OK」ボタン	メッセージを確認した際に押下します。	—	デフォルトボ
				タン

### 17)「保存確認(再起動要請)」メッセージ

保存確認	
⚠	設定を有効にするには、アプリケーションを再起動してください。
	<u> </u>

No.	項目	説明	入出力可能文字	初期値
1	「OK」ボタン	メッセージを確認した際に押下します。	—	デフォルトボ
				タン

## データコンバート方法について

旧 V1.4 から V2.0 へのデータコンバート方法を記載します。

- 1 引継ぎたいデータファイルをバックアップします。
  - ・ "C:¥Program Files¥SAXA¥CallMng"フォルダにあるデータファイル(CallMng.mdb)、及 び ini ファイル (CallMng.ini) を適当なフォルダへバックアップします。 ※上記フォルダパスは、デフォルトインストール時のものです

2 v1.4 の通話管理装置をアンインストールします。

・ Windows のコントロールパネルの [プログラムの追加と削除] から、「通話情報管理装置」 を選択し、削除して下さい。

3 v2.0 の通話管理装置をインストールします。

• V2.0 の"InstallLauncher.exe"を実行し、通話管理装置をインストールしてください。※インス トールの詳細な手順は、6ページ目からを参照してください。

4 通話管理 PC データ移行ツールにて、データコンバートします。

- ① コンバートツールを起動するには【スタート】ボタンをクリックし、スタートメニューから「す べてのプログラム]--「通話情報管理装置]--「通話管理 PC データ移行ツール]を選択しま す。
- ツール起動すると、以下の画面を表示します。

🍇 通話管理PC データ移行ツール	×
ーデータ格納フォルダ(旧形式MDB/INIファイル)	7
参照	
※ V1.41以前で作成された旧形式のMDB/INIファイルをV2.00の新形式にコンバートします。	
実行終了	

■ボタン説明

ボタン名	内容
参照ボタン	フォルダ選択ダイアログを表示する。 (変換するMDB及びINIファイルが格納されている フォルダを選択する)
実行ボタン	コンバートを開始する。
終了ボタン	ツールを終了する。

③ 「データ格納フォルダ(旧形式 MDB/INI ファイル)」欄の「参照」ボタンを押下し変換したい V1.4 データがあるフォルダを指定してください。

💑 通話管理PC データ移行ツール
データ格納フォルダ(旧形式MDB/INIファイル)
参照
※ V1.41以前で作成された旧形式のMDB/INIファイルをV2.00の新形式にコンバートします。
実行旅了

④ 「実行」ボタンを押下すると、コンバート処理を開始することを確認画面が表示されます。

開始確認	$\mathbf{X}$
<b>②</b> 処理を開始	します。よろしいですか?
( TURY )	いいえ( <u>N</u> )

5 「はい」ボタンを実行すると、データコンバートが開始します。コンバートしたファイルを、 プログラム参照フォルダへ上書きすることを確認する画面が表示されます。

確認		
2	同一名称のファイルが既に存在します。上書きしますか?	
	(まい)(2) いいえ(N)	

- ⑥ 「はい」ボタンを押下すると、プログラム参照フォルダへコンバートしたファイルがコピー されます。
- ⑦ 結果画面が表示されます。



⑧ 「OK」ボタンを押下します。

以上でコンバート作業完了です。

### ご参考に

通話管理装置の設定ファイル(以下iniファイルと記載)をテキスト編集エディタで編集することで、通話管理装置の各種設定ができます。

iniファイルは以下のフォルダに格納されています。※デフォルトインストール時

バージョン	OS	ini ファイル場所
V2.0以前	WindowsXP/2000	"C:¥Program Files¥SAXA¥CallMng"
V2.0以降	WindowsXP/2000	"C:\Documents and Settings\All Users\Documents\SAXA\CallMng"
	WindowsVista/Server2008	"C:¥User¥Public¥Documents¥SAXA¥CallMng"

iniファイル変更時は、通話管理装置アプリケーションを再起動して下さい。



1. 通話明細表示画面の表示順番を変更できます。

[TsuuwaMeisai]タブのDispSortを「0」にすると昇順表示となります。 [TsuuwaMeisai]タブのDispSortを「1」にすると降順表示となります。

※ i n i ファイル記載例(降順表示)



2. 通話明細表示画面/通話料金集計画面において、異なる桁数での内線番号指定検索ができるよう になります。

[NaisenKeta]タブの N0\_0~N0\_9 は、先頭ダイヤル 0~9 に対する桁数を設定します。主装置の設定(保守データ 300:番号計画) にあわせて、各桁数設定してください。

「0:設定なし」(初期値)と設定してある場合は、異なる桁数での内線番号指定検索はできません。

※ i n i ファイル記載例

内線番号100~199(3桁)/2000~2999(4桁)で運用している場合

: 内線有効桁数設定				
: 内線初頭番号別桁数	:初頭番号別有効桁数(0:設定なし/1~4:設定桁数)			
`*************************************	************************			
[NaisenKeta]				
N0_0=0				
NO_1=3				
N0_2=4				
N0_3=0				
N0_4=0				
N0_5=0				
N0_6=0				
N0_7=0				
N0_8=0				
N0_9=0				

上記の設定を行う事で、通話明細表示画面/通話料金集計画面の内線番号指定にて、「100」~「2999」 で絞込み検索ができるようになります。

以上